

P型1級発信機  
PX P型1級発信機  
RX P型1級発信機  
P型1級発信機  
(コモン単独型)  
P型2級発信機

埋込屋内型：品番 NYM121CF 埋込屋外型：品番 NYM122DF  
埋込屋内型：品番 NYM125CF 埋込屋外型：品番 NYM126DF  
埋込屋内型：品番 NYM129CF 埋込屋外型：品番 NYM130DF  
埋込屋内型：品番 NYM123CF 埋込屋外型：品番 NYM124DF  
埋込屋内型：品番 NYM207CF 埋込屋外型：品番 NYM208DF

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付 属 品	●防水パッキン(埋込屋外型のみ付属)……………1コ ●取扱説明書 ……………1枚 ●施工説明書(本紙) ……………1枚
-------	---

安全上のご注意

■必ずお守りください

警告

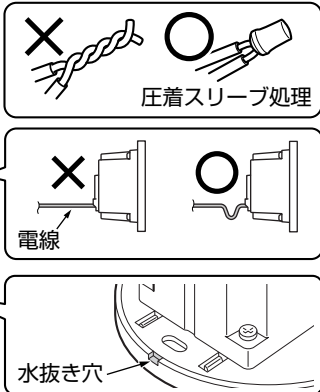


必ず守る

- 受信機の電源(AC 100 V)を切り、電池を取りはずした状態で施工する。  
活線工事は感電・故障の原因となります。

施工上のご注意

- 商品の分解・改造は絶対しないでください。故障の原因となります。
- この商品は、スイッチボックスには取り付けできません。スイッチボックスへ取り付ける場合は、パナソニック(株)製 発信機用埋込プレート(BV9701)(オプション)、パナソニック(株)製 発信機用露出ボックス(屋内用)(BV9741)(オプション)をご使用ください。
- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。  
〔電線をよじっただけでは、長期間使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤報の原因となります。〕
- 配線方法に示す機器以外の機器に接続する場合は、当社にご相談ください。不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。
- 水が電線をつたわって端子部に浸入しにくいように処理してください。
- 埋込屋外型の施工時、雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、発信機本体と壁面などの間にコーキングをしてください。この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。
- 埋込屋外型の場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。
- 体育館などでボールが発信機に当たるおそれがある場合は、発信機プロテクタ(埋込型用)(オプション)を取り付けてください。
- 次のような場所には設置しないでください。(誤動作や故障の原因となります。)



埋込屋内型の場合

- 水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所

埋込屋外型の場合

- 蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 汚水や海水のかかる場所

PX P型1級発信機・RX P型1級発信機をご使用の場合

- この商品は、施工する前にアドレス設定器 ㊟(別売)でアドレス書き込みをしてください。アドレス書き込みを行わないと動作しません。  
また、設置した発信機のアドレス番号を変更する場合は、アドレス設定器で設定してください。詳細は、アドレス設定器に付属の取扱説明書を参照してください。
- PX P型1級発信機の場合：アドレス設定器(NSY452)
- RX P型1級発信機の場合：アドレス設定器(NSY501またはNSY452)
- PX P型1級発信機は、自動試験機能付の受信機のみ接続できます。  
自動試験機能のない受信機に接続すると、正常に動作しません。
- RX P型1級発信機をご使用の場合は、電話機で通話中に雑音が発生し聞き取りにくい場合があります。電話線(T, TC)と伝送線(SA, SB)は、別シースの配線をしてください。

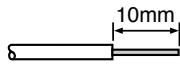
施工後の確認方法

1. 受信機のトラブル灯が点滅していないことを確認する。  
(詳細は、受信機に付属の取扱説明書を参照してください。)
2. 発信機の保護板を押して、受信機が作動することを確認する。
  - P型1級発信機・PX P型1級発信機・RX P型1級発信機・P型1級発信機(コモン単独型)の場合は、発信機の確認灯(赤)が点灯します。
3. P型1級発信機・PX P型1級発信機・RX P型1級発信機・P型1級発信機(コモン単独型)の場合は、通話確認をする。
  - ① 発信機の電話ジャックに電話機(受信機に付属)のプラグを差し込む。
    - 受信機の電話音響が鳴ります。
  - ② 受信機の点検用スイッチカバーを開け、電話ジャックにプラグを差し込み発信機と通話する。
    - 受信機の電話音響は自動的に止まります。
    - プッシュトーク機能のある受信機は、点検用スイッチカバー内の通話スイッチで通話ができます。  
(詳細は、受信機に付属の取扱説明書(点検・施工される皆様へ)を参照してください。)
4. 平常時の状態に戻す。
  - ① 発信機の保護板を元に戻す。  
(詳細は、「保護板の戻し方」(裏面)を参照してください。)
  - ② 受信機の復旧スイッチを押して、平常時の状態に戻す。  
(詳細は、受信機に付属の取扱説明書を参照してください。)

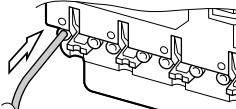
配線方法

速結端子のご使用方法

- ① 電線の被ふくを10 mm むく。  
単線：φ0.9 mm～φ1.2 mm



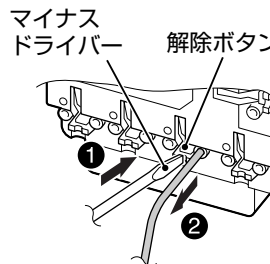
- ② 1本ずつ奥までしっかり差し込む。



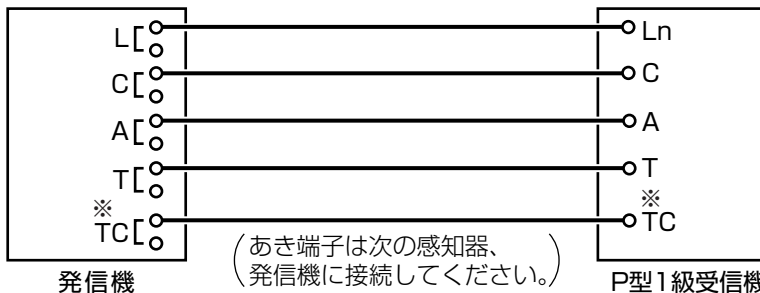
- 注 ●電線の差し込みが不十分な場合、誤動作のおそれがありますので確実に差し込んでください。  
●埋込屋外型の場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。

■電線のはずし方

解除ボタンを押しながら電線を引き抜く。



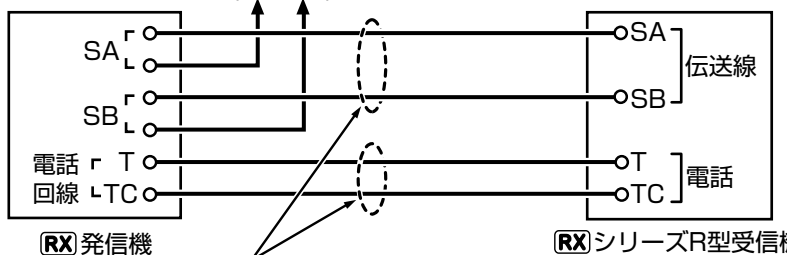
P型1級発信機・PX P型1級発信機



※：TC端子はPX P型1級発信機のみです。

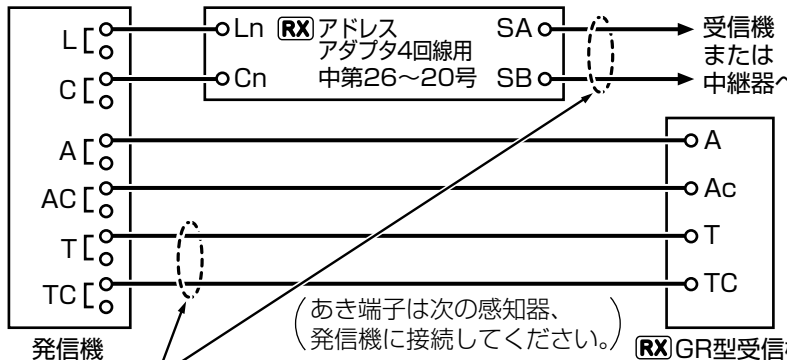
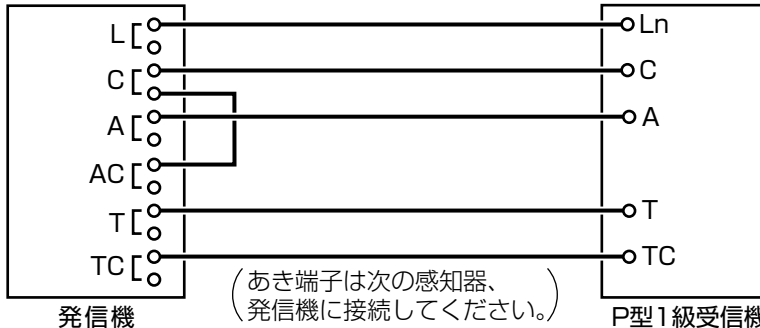
RX P型1級発信機

次のRX 感知器、RX 発信機などへ



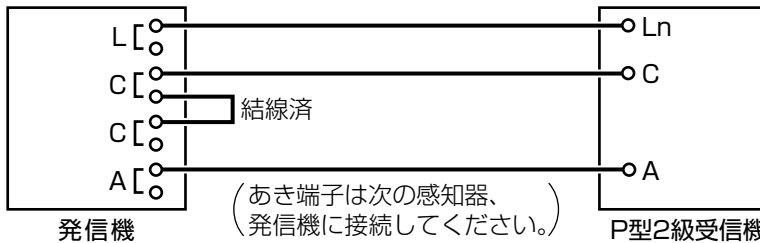
注 電話機で通話中に雑音が発生し聞き取りにくい場合があります。電話線(T, TC)と伝送線(SA, SB)は、別シースの配線をしてください。

P型1級発信機(コモン単独型)



注 電話機で通話中に雑音が発生し聞き取りにくい場合があります。電話線(T, TC)と伝送線(SA, SB)は、別シースの配線をしてください。

P型2級発信機



# 取付方法

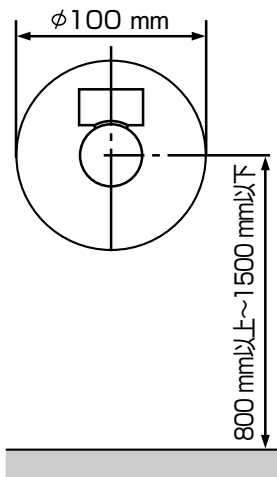


この商品は、スイッチボックスには取り付けできません。スイッチボックスへ取り付ける場合は、パナソニック(株)製 発信機用埋込プレート(BV9701)(オプション)、パナソニック(株)製 発信機用露出ボックス(屋内用)(BV9741)(オプション)をご使用ください。

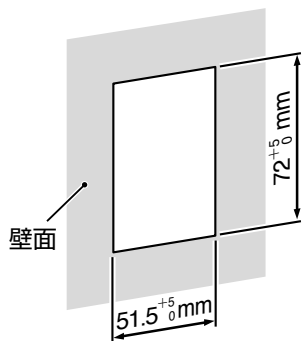


埋込屋外型の施工時、雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、発信機本体と壁面などの間にコーキングをしてください。この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。

## 1 取付位置を決める。



## 2 壁面に穴をあける。

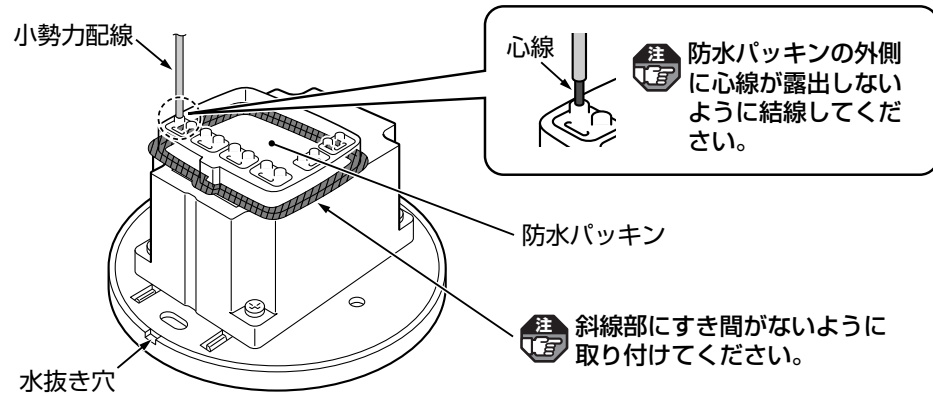


## 3 配線する。

※「配線方法」(表面)参照。



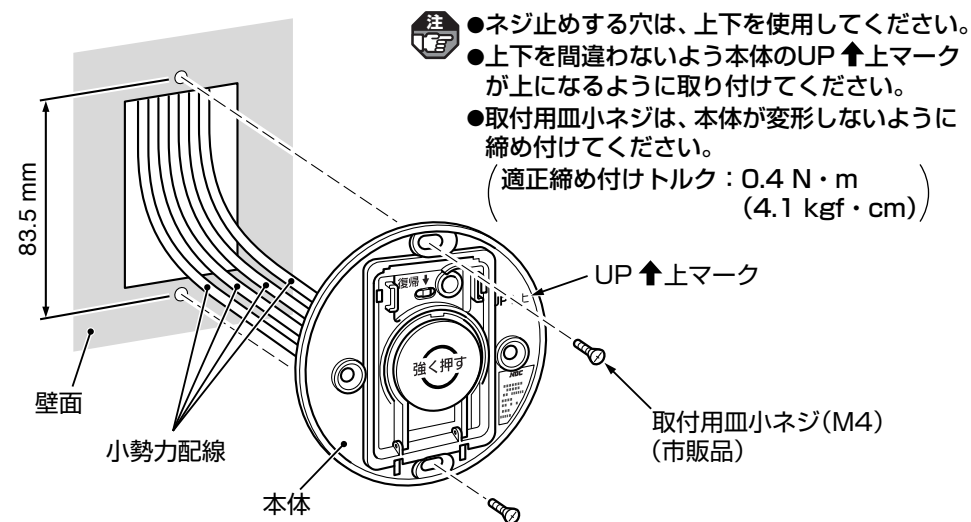
- 埋込屋外型の場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。また防水パッキンは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと、防水パッキンと商品のすき間から水が入り故障の原因となります。
- 埋込屋内型には防水パッキンは付属されていません。



## 4 本体を壁面に取り付ける。



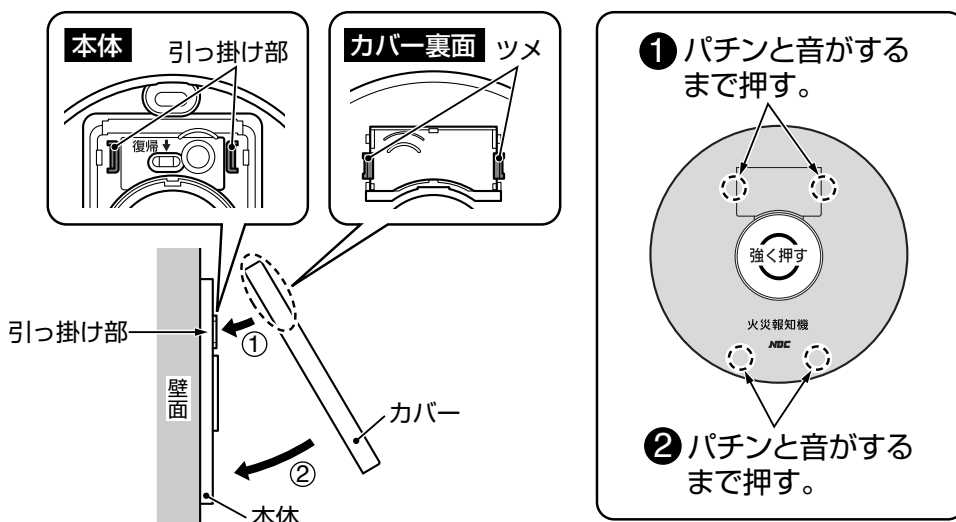
- ネジ止める穴は、上下を使用してください。
- 上下を間違わないよう本体のUP↑上マークが上になるように取り付けてください。
- 取付用皿小ネジは、本体が変形しないように締め付けてください。  
(適正締め付けトルク: 0.4 N・m  
(4.1 kgf・cm))



## 5 本体とカバーの上下方向を合わせ、カバー内部のツメを本体の引っ掛け部に挿入し、パチンと音がするまで押して取り付ける。



取り付け後、壁面に対してカバーが浮いていないことを確認してください。浮いている場合は、カバーの本体への取り付けをやり直してください。落下するおそれがあります。

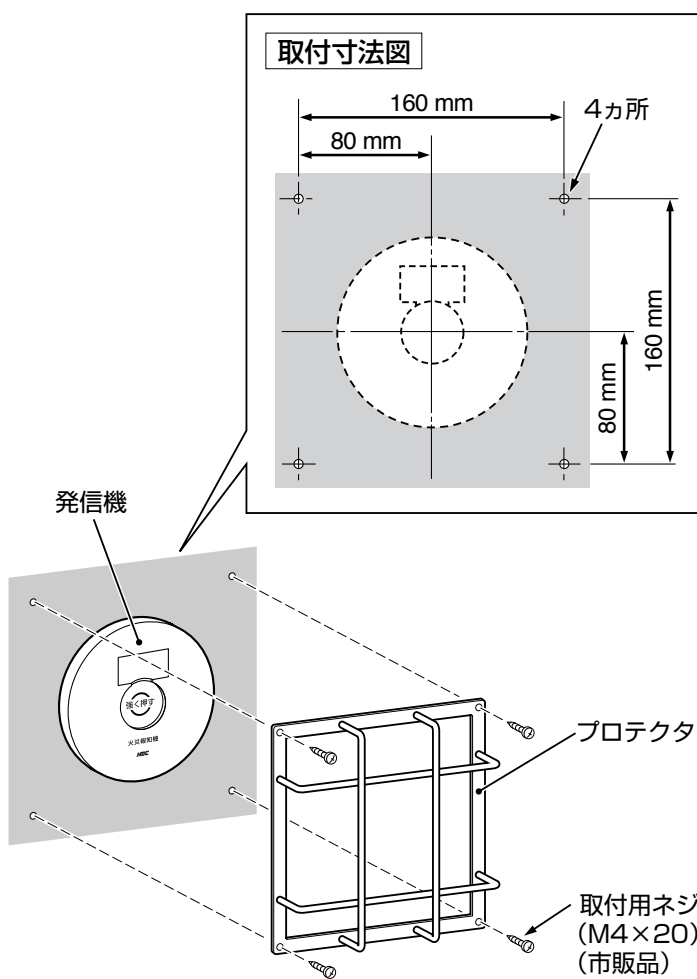


# プロテクタの取付方法

- パナソニック(株)製 発信機プロテクタ(埋込型用)(オプション)を使用してください。

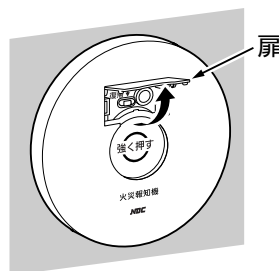


プロテクタには取付方向がありますので、下図のように取り付けてください。

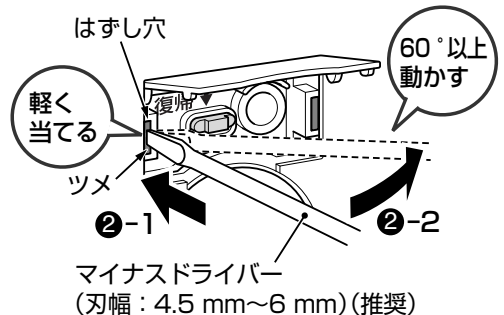


## カバーのはずし方

### 1 扉を上へあげる。

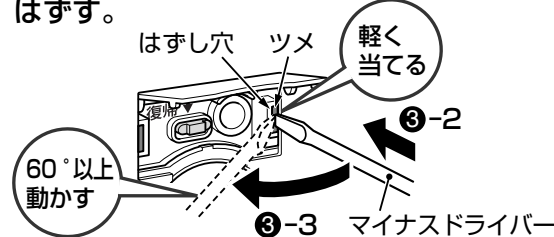


### 2 はずし穴へマイナスドライバーを軽く当て、マイナスドライバーを商品の中心方向に動かしてツメをはずす。

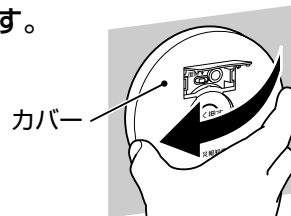


マイナスドライバーは軽く当てる程度にしてください。強く押し込むとツメが破損します。

### 3 もう一方も手順②と同様にツメをはずす。



### 4 カバーをはずす。



表示灯(NYL906CH、NYL906DHA)、パナソニック(株)製 発信機用埋込プレート(BV9701)(オプション)、パナソニック(株)製 発信機用露出ボックス(屋内用)(BV9741)(オプション)に発信機を取り付けている場合

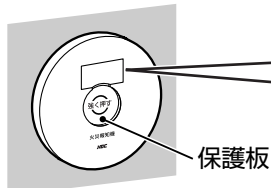
- 扉を引っ張りながらカバーをはずす。



無理に引っ張るとはずれる場合があります。

発信機のカバー 発信機の扉

## 保護板の戻し方



### 2 復帰ボタンを下げる。

